

公の施設の指定管理者のモニタリング評価結果について

1 対象年度及び施設

- (1) 評価対象年度 : 平成27年度
 (2) 評価対象施設数 : 261施設

2 評価結果

総合評価	評価基準 (得点)	平成27年度		平成26年度		H27-H26 (施設数)	主な施設名等
		(施設数)	比率	(施設数)	比率		
AA 特に優れている	9~10点	1	0.4%	2	0.7%	▲ 1	呉市海事歴史科学館
A 良好	7~8点	49	18.8%	135	49.3%	▲ 86	スポーツ施設, 駐車場等
B おおむね良好	4~6点	210	80.4%	137	50.0%	73	市営住宅(106施設), 漁業用施設等
C 指導・助言が必要	2~3点	1	0.4%	0	—	1	グリーンピアせとうち
D 大幅な改善等が必要	1点以下	0	—	0	—	0	
合 計		261	100.0%	274	100.0%	▲ 13	

※ 施設数(▲13)の内訳 : 新規導入 3施設 恵みの丘蒲刈, 入船山記念館, (非公)美術館
 指定管理から直営 ▲8施設 梶ヶ浜施設5, 福祉会館, 安登駐輪場, 宮原老人集会所
 廃止 ▲8施設 市営住宅3, 堺川駐車場, 漁業施設4

3 利用者満足度調査結果

事 項	H27年度	H26年度	H27-H26
指定管理者制度導入施設数	261施設	274施設	▲ 13施設
利用者満足度調査実施施設数	169施設	163施設	6施設
アンケート回収人数	12,148人	11,044人	1,104人
満足	88.9%	86.8%	2.1%
不満	4.4%	5.8%	▲ 1.4%
未回答他	6.7%	7.4%	▲ 0.7%

利用者アンケートの内容

- (◇職員の対応
 ◇施設の状況
 ◇サービスの内容 など)

※ 聞き取りのみ実施したものは除く。

4 指定管理者によるサービス向上取組事例

指定管理者によるサービス向上取組事例

No.	施設名	指定管理者	所管課等	取組内容
1	国民宿舎野呂高原ロッジほか	(一財)野呂山観光開発公社	観光振興課	<ul style="list-style-type: none"> ●「手ぶらでキャンプ」・「ロッジ&キャンプ」等の様々な企画プランを実施し利用促進 ●継続して <ul style="list-style-type: none"> ・ロッジとその他野呂山施設との連携プランによる野呂山全体の活性化取組を実施
2	呉市海事歴史科学館	大和ミュージアム運営グループ	海事歴史科学館学芸課	<ul style="list-style-type: none"> ●開館10周年に係るイベント・シンポジウム等の開催や特設ウェブサイト、記念グッズ等を作成 ●終戦70周年記念特別企画展「日米最後の戦艦展」を開催 ●お盆期間は臨時的に開館時間延長(18時→19時)、シルバーウィーク期間の休館日は臨時開館を実施 ●継続して <ul style="list-style-type: none"> ・市内観光の回遊性向上のため、エントランスホール内に観光案内ブースを設置(H25～)
3	呉市入船山記念館	入船山記念館運営グループ	海事歴史科学館学芸課	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームページとFacebookページを開設し、行事の開催予告や入船山の植物など日々の風景を発信
4	蔵本駐車場ほか	テルウェル西日本(株)	都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> ●駐車場の営業時間内において最大料金制を導入(H27.8.1～) ●駐輪場内に電気空気注ぎ機・貸出タオル及び貸出用置き傘を配備 ●駐輪場内のバイク、自転車の駐輪レイアウトを分かり易く表示
5	呉市文化ホール	(公財)呉市文化振興財団	文化振興課	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者サービス向上や施設の長寿命化の視点でホールの修繕実施(電光表示板改修、トイレ洗面台水栓の取替え、楽屋LAN整備、ドア段差の解消など) ●継続して <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度に県内初開催となった避難訓練コンサートを継続実施
6	呉市スポーツ会館ほか17施設	(公財)呉市体育振興財団	スポーツ振興課	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者サービス向上や施設の長寿命化の視点で修繕実施(野球場観客席用ベンチ更新、ロビー案内表示板更新、グラウンド仕切りネット修繕など) ●継続して <ul style="list-style-type: none"> ・ひろしま公共施設予約サービスを利用し、インターネットで予約等が可能 ・心肺蘇生法、AED使用訓練を受講し、職員全員が救急救命できる体制を構築

5 個別の評価結果

別紙のとおり